

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 HyVolt III

供給者の会社名称, 住所及び電話番号

Ergon, Inc.  
P.O. Box 1639  
Jackson, MS 39181 USA

Supplied By:

Ergon International, Inc.  
Drève Richelle 161 Building C  
B-1410 Waterloo, Belgium  
sds@ergon.com

メールアドレス:

1.4 Emergency  
telephone number

US Customer Service:

+ 1-800-222-7122

ケムトレック

+ 1-800-424-9300 After Business Hours (North America)

ク (Chemtrec) :

+ 1-703-527-3887 (International),  
+32-28083237 (Belgium)  
+33-975181407 (France)  
+49-69643508409 (Germany)  
+39-0245557031 (Italy)  
+34-931768545 (Spain)  
+32022649636

Poison Centre (Centre  
Antipoisons - Belgium):

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途

Transformer Oil

整理番号

AA03157-0000000295

## 2. 危険有害性の要約

化学品のGHS 分類

物理化学的危険性

GHS分類基準に該当しない。

健康に対する有害性

誤えん有害性

区分1

環境に対する有害性

水生環境有害性 長期 (慢性)

区分3

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。長期継続的影響によって水生生物に有害。

注意書き

安全対策

煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。環境への放出を避けること。

応急措置

飲み込んだ場合: 直ちに毒物センター/医師/に連絡すること。無理に吐かせないこと。

保管

施錠して保管すること。

廃棄

内容物/容器を現地、地域、国、国際規則に従って廃棄すること。

GHS 分類に関係しない又はGHS で扱われない他の危険有害性

知見なし。

その他の情報

なし。

#### 重要な徴候及び想定される非常事態の概要

重要な徴候 吸引すると肺浮腫と肺炎を起こす可能性がある。

非常事態の概要 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

成分	CAS番号	官報公示整理番号		含有量 (%)
		化審法	安衛法	
蒸留(石油), 水素化処理軽ナフタレン酸類	64742-53-6		(1)-467	50 - 60
蒸留(石油), 水素化処理軽パラフィン系類	64742-55-8			40 - 50
2,6-ジ-tert-ブチル-p-クレゾール	128-37-0	(3)-540, (9)-1805	(3)-540, (9)-1805	< 0.4

化学式 UVCB (64742-53-6), C15-H24-O (128-37-0)

組成情報 成分がガスでない限り、全ての濃度は重量パーセントである。ガス濃度は容量パーセントである。

### 4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移動する。症状が悪化したり継続したりする場合は医師に連絡する。

皮膚に付着した場合 石けんと水で洗い流す。刺激が強まったり続く場合には医師の手当てを受ける。

眼に入った場合 水で洗う。刺激が強まったり続く場合には医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合 直ちに医師に連絡すること。口をすすぐこと。嘔吐させない。もし嘔吐が起こったら、胃からの嘔吐物が肺に入らないよう頭部を下げる。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 吸引すると肺浮腫と肺炎を起こす可能性がある。肌を脱脂する。めまい。頭痛。吐き気、嘔吐。

応急措置をする者の保護に必要な注意事項 医療スタッフに物質が何であるかを伝え、自身の保護措置にも気をつけさせる。

医師に対する特別な注意事項 一般的な処置および症状にあわせた適切な治療を施す。被災者の観察を続ける。症状は遅れて出てくることがある。

### 5. 火災時の措置

適切な消火剤 水噴霧または霧状の水 粉末消火剤。二酸化炭素 (CO2)。ハロン。

使ってはならない消火剤 火災を拡散させるので、消火に棒状放水を利用しない。

火災時の特有の危険有害性 火災の際は健康に有害なガスが生成されることがある。

特有の消火方法 危険でなければ、火災区域から容器を移動させる。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 火災の際は自給式呼吸器および全身保護衣を着用しなければならない。

一般的な火災の危険性 異常な火災や爆発の危険性は知られていない。

特定の消火方法 通常の消火手順を用いる。影響を受けた他の物質の有害性を考慮する。

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置 関係者以外の立ち入りを禁止する。こぼれやもれが起きている場所から関係者以外を遠ざけ、風上に避難させる。清掃中は適切な保護具および防護服を着用する。十分な換気を確保する。流出が著しくて回収できない場合は、現地当局に通告すべきである。個人用保護具についてはSDS第8項を参照。

環境に対する注意事項 下水や水路、地面への排出を避ける。If this material is spilled into navigable waters and creates a visible sheen, it is reportable to the National Response Center.

**封じ込め及び浄化の方法及び機材** 全ての着火源（近くにあるタバコ、炎、火花、火）を除去する。この製品は水と混合せず、水の表面を拡散する。

大量の漏出： リスクを伴わずに可能なら、物質の流れを遮断する。可能な場合は漏出物をせき止める。パーミキュライト、乾いた砂または土に吸収し、容器に収納する。製品回収後、その付近を水で洗い流す。

少量の漏出： 吸収材（例：布、フリース）で拭き取る。残った汚染物を除去するため、床を徹底的に清掃すること。

絶対に流出物を元の容器に回収して再使用してはならない。廃棄物の廃棄方法については、本SDSの項目13を参照。この製品は水に溶けない。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

**技術的対策（局所排気、全体換気等）** 適切な換気を行う。

**安全取扱注意事項** 長時間のばく露を避ける。取扱い後は手をよく洗うこと。産業衛生に気を配る。SDS第8項で推奨される個人用保護具を使用すること。

**接触回避** 詳細についてはSDS第10項を参照。

**衛生対策** 本物質を取り扱った後、飲食や喫煙をする前に手を洗うなど、常に適切な衛生措置をとる。汚染物質を取り除くために定期的に作業衣と保護具を洗う。

### 保管

**安全な保管条件** 施錠して保管すること。混触禁止物質から離して保管すること（本SDSの項目10を参照）。

**安全な容器包装材料** 元の容器に密閉して保管する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

**許容濃度等** 標準監視手順に従ってください。

### 暴露限界値

#### 日本産業衛生学会 – 許容濃度

成分	タイプ	数値	形状
オイルミスト、鋳物	TWA	3 mg/m <sup>3</sup>	ミスト。

#### 米国. ACGIH作業環境許容濃度 (TLV)

成分	タイプ	数値	形状
オイルミスト、鋳物	TWA	5 mg/m <sup>3</sup>	吸入性画分

**設備対策** 規定された職業暴露限界値を超えることのないように、適切な局所排気装置を設置するなどして十分な換気を行う。

### 保護具

**呼吸用保護具** 換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。

**手の保護具** 適した耐化学薬品性の手袋を着用しなければならない。化学防護手袋が望ましい。前腕が接触する可能性がある場合には、長手袋タイプのものを着用する。EN374で試験済みの適切な手袋を着用すること。When prolonged or frequent repeated contact occurs, Nitrile gloves may be suitable. (Breakthrough time of > 240 minutes.) For incidental contact/splash protection Neoprene, PVC gloves may be suitable.

**眼、顔面の保護具** サイドシールドのついた安全眼鏡（またはゴーグル）を着用する。フェイスシールドが望ましい。

**皮膚及び身体の保護具** 適切な保護衣を着用する。

## 9. 物理的及び化学的性質

**物理状態** 液体。

**形状** 液体。

色	L0.5
臭い	Mild Petroleum Odor
融点/凝固点	-63 °C (-81.4 °F) ASTM D5950/ISO 3016
沸点又は初留点及び沸点範囲	287 °C (548.6 °F) ASTM D2887/ ISO 3294
可燃性	火災にまきこまれた場合は燃焼する。

#### 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

爆発限界 - 下限 (%) 設定されていない。

爆発限界 - 上限 (%) 設定されていない。

引火点 156.0 °C (312.8 °F)

自然発火点  $\geq 315$  °C ( $\geq 599$  °F) ASTM E659

分解温度 設定されていない。

pH 該当しない。

動粘性率 9.4 mm<sup>2</sup>/秒 ISO 3104 (40 °C (104 °F))

#### 溶解度

溶解度 (水) 水に不溶。

n-オクタノール/水分配係数 (log 値) Not applicable, product is a mixture.

蒸気圧 設定されていない。

#### 密度及び/又は相対密度

密度 データなし。

相対密度 0.88 (20 °C (68 °F) ASTM D4052/ ISO 12185)

相対ガス密度 設定されていない。

#### 粒子特性

粒子サイズ Not applicable, material is a liquid.

#### その他の情報

爆発性状 爆発物でない。

酸化能力 酸化性でない。

## 10. 安定性及び反応性

反応性 本製品は、通常の使用、保管および輸送条件下では安定かつ非反応性である。

化学的安定性 通常状態で安定。

危険有害反応可能性 一般的な使用条件下では、危険な反応は知られていない。

避けるべき条件 混触危険物質との接触。熱、火花、裸火から離して保管する。引火点を超える温度を避ける。

混触危険物質 強酸化剤。

危険有害な分解生成物 危険有害な分解生成物は知られていない。

## 11. 有害性情報

#### 急性毒性

成分	種	試験結果
2,6-ジ-tert-ブチル-p-クレゾール (CAS 128-37-0)		
急性 経口		
LD50	ラット	> 6000 mg/kg
急性 経皮		
LD50	ラット	> 2000 mg/kg, 24 時間

成分	種	試験結果
蒸留(石油), 水素化処理軽ナフタレン酸類 (CAS 64742-53-6)		
<b>急性</b>		
<b>吸入</b>		
エアゾール		
LC50	ラット	> 5.53 mg/l, 4 時間
<b>経口</b>		
LD50	ラット	> 5000 mg/kg
<b>経皮</b>		
LD50	ウサギ	> 5000 mg/kg, 24 時間
蒸留(石油), 水素化処理軽パラフィン系類 (CAS 64742-55-8)		
<b>急性</b>		
<b>吸入</b>		
エアゾール		
LC50	ラット	> 5.53 mg/l, 4 時間
<b>経口</b>		
LD50	ラット	> 5000 mg/kg
<b>経皮</b>		
LD50	ウサギ	> 5000 mg/kg, 24 時間
<b>皮膚腐食性/刺激性</b>	長時間の皮膚接触により一時的な刺激を起こすことがある。May cause defatting of the skin, but is neither an irritant nor a sensitizer.	
<b>腐食性</b>	2,6-ジ-tert-ブチル-p-クレゾール	OECD 試験ガイドライン 404 結果: 皮膚刺激性なし。 種: ウサギ
<b>眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性</b>	直接目に接触すると一時的に刺激を起こすことがある。	
<b>眼</b>	2,6-ジ-tert-ブチル-p-クレゾール	OECD 試験ガイドライン 405 結果: 眼の刺激なし 種: ウサギ
<b>呼吸器感作性又は皮膚感作性</b>		
<b>呼吸器感作性</b>	呼吸器感作性物質でない。	
<b>皮膚感作性</b>	この製品は、皮膚感作を引き起こすとは思われない。	
<b>皮膚感作性</b>	2,6-ジ-tert-ブチル-p-クレゾール	ヒト反復傷害パッチテスト (HRIPT) 結果: 陰 種: 人間
<b>生殖細胞変異原性</b>	本製品あるいは製品中に0.1%以上含有する成分に変異原性または遺伝子毒性があることを示すデータはない。	
<b>変異原性</b>	2,6-ジ-tert-ブチル-p-クレゾール	In vitro mammalian cell gene mutation test 結果: 陰 In vivo mammalian bone-marrow cytogenetic test, chromosomal analysis 結果: 陰 種: ラット

**生殖細胞変異原性：エームス試験**

2,6-ジ-tert-ブチル-p-クレゾール

試験管内の  
結果: 未判定**生殖細胞変異原性：染色体異常**

2,6-ジ-tert-ブチル-p-クレゾール

試験管内の  
結果: 未判定**発がん性**

ヒトへの発がん性を分類できない。

2,6-ジ-tert-ブチル-p-クレゾール

飲み込んだ場合  
結果: 未判定  
種: ラット  
試験期間: 22 月**ACGIH発がん性物質**

高度精製鉱物油 (CAS -)

A4 ヒトへの発がん性を分類できない。

**IARC発がん性評価モノグラフ**

高度精製鉱物油 (CAS -)

3 ヒトへの発がん性を分類できない。

**生殖毒性**

この製品は、生殖影響または発達影響を引き起こすとは予想されない。

**生殖力**

2,6-ジ-tert-ブチル-p-クレゾール

Embryo-foetal development (Ingestion)  
結果: 未判定  
種: ラット  
Two-generation reproduction toxicity study (Ingestion)  
結果: 未判定  
種: ラット**特定標的臓器毒性（単回ばく露）**

区分に該当しない。

**特定標的臓器毒性（反復ばく露）**

区分に該当しない。

2,6-ジ-tert-ブチル-p-クレゾール

25 mg/kg NOAEL (Ingestion)  
種: ラット  
試験期間: 22 月**誤えん有害性**

飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。

**12. 環境影響情報****生態毒性**

長期継続的影響によって水生生物に有害。

**残留性・分解性**

本質的に生分解性であると予測される。

**生体蓄積性**

データなし

**土壌中の移動性**

この製品は水と混合せず、水の表面を拡散する。

**オゾン層への有害性**

データなし

**他の有害影響**

油の漏出は一般的に環境に対して有害である。

**13. 廃棄上の注意****残余廃棄物**

現地の規定に従い、処分する。空の容器または内張には製品残渣が残っているおそれがある。この物質およびその容器は、安全な方法で廃棄しなければならない。

**汚染容器及び包装**

製品の残余物が残っているかもしれないので、容器が空になった後もラベルの警告に従う。空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、承認された廃棄物処理施設に運ばなければならない。

**地域の廃棄規制**

廃棄物処理法の許可を受けた業者に処理を委託する。回収して再生するか、許可を受けた廃棄物処理場で、密封された容器に納めて廃棄する。内容物/容器を現地、地域、国、国際規則に従って廃棄すること。自社で排水処理装置を所有していない場合は、全量回収の上産業廃棄物処分量の許可を受けた業者に、産業廃棄物管理票(マニフェスト)を添えて、処理を委託する。

**14. 輸送上の注意****IATA**

危険物には該当しない。

## IMDG

危険物には該当しない。

MARPOL73/78 附属書II 及 未確定。

びIBC コードによるばら積み輸送  
される液体物質

国内規制 国内輸送については15項の規制に従うこと。

## 15. 適用法令

### 労働安全衛生法

通知対象物 (SDS交付及びリスクアセスメント対象物) (政令番号、含有量、施行日)

該当せず。

表示対象物

該当せず。

がん原性物質 (労働安全衛生規則第577条の2)

該当せず。

皮膚等障害化学物質 (則第594条の2)

該当しない。

### 毒物及び劇物取締法

特定毒物

該当せず。

毒物

該当せず。

劇物

該当せず。

### 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

第一種特定化学物質

該当せず。

第二種特定化学物質

該当せず。

監視化学物質

該当せず。

優先評価化学物質

該当せず。

届出不要物質

該当せず。

### 2023年4月1日以降の化学物質排出把握管理促進法

特定第一種指定化学物質(物質名、管理番号、含量)

該当せず。

第一種指定化学物質(物質名、管理番号、含量)

該当せず。

第二種指定化学物質(物質名、管理番号、含量)

該当せず。

### 消防法

第四類第三石油類(非水溶性液体) 危険等級III

### 船舶安全法・危規則

該当せず。

### 航空法・施行規則

該当せず。

### 火薬類取締法

該当せず。

## 16. その他の情報

### 引用文献

ACGIH Documentation of the Threshold Limit Values and Biological Exposure Indices  
HSDB® - Hazardous Substances Data Bank  
IARC発がん性評価モノグラフ  
日本化学工業協会 GHS対応ガイドライン、2019年6月  
日本産業衛生学会、許容濃度等の勧告  
JIS Z 7252 : 2019 GHS に基づく化学品の分類方法  
JIS Z 7253 : 2019 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル、作業場内の表示  
及び安全データシート (SDS)  
National Toxicology Program (NTP) Report on Carcinogens

Ergon International は、本情報と当社製品、または当社製品と他のメーカーの製品の組み合わせが使用されるあらゆる状況を予測できるわけではありません。製品の処理、保管および処分を行う際に安全な状況を確認するのはユーザーの責任であり、ユーザーは不適切な使用による損失、傷害、損害または費用に法的責任を負います。シート情報は、現在入手できる最高の知識と経験に基づき記入されています。